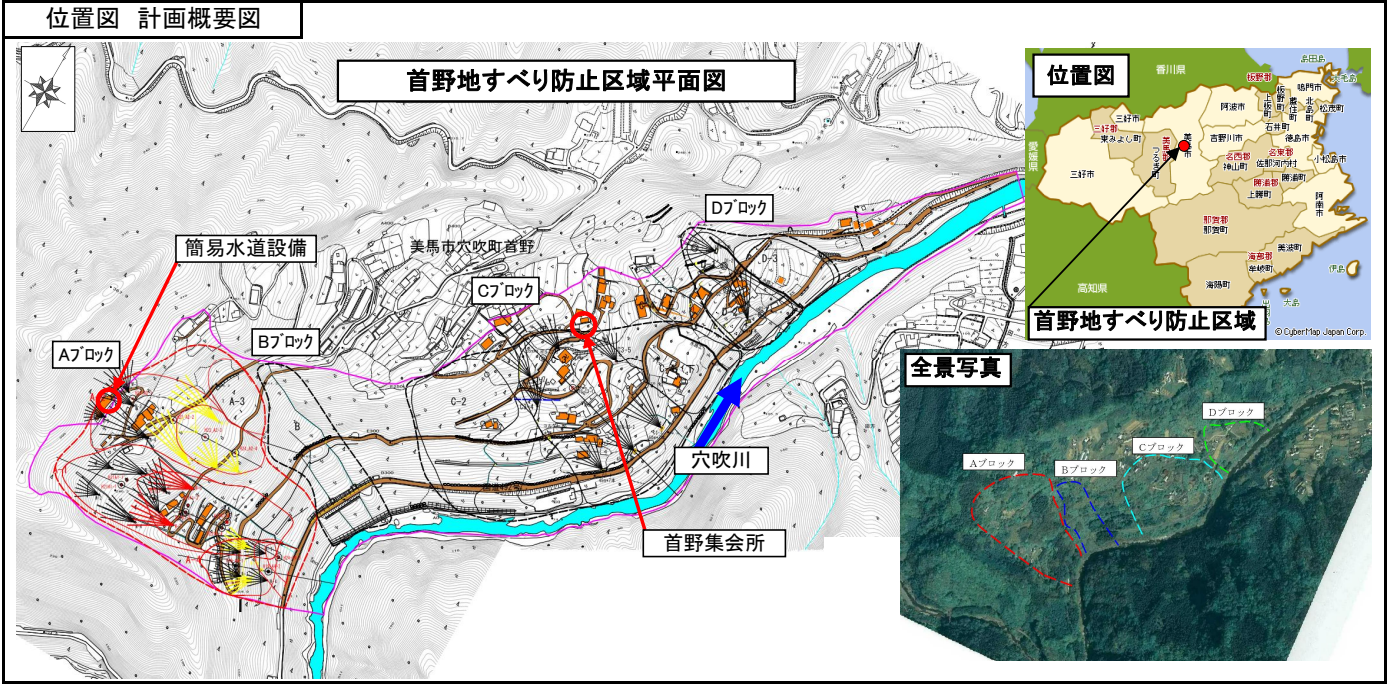


再評価時再評価結果(平成25年度)

担 当 課 : 徳島県砂防防災課
担当課長名 : 大和 章人

事業の概要

事業名	首野地すべり対策事業	事業区分	地すべり対策事業	事業主体	徳島県
事業箇所	徳島県美馬市穴吹町首野	箇所名	首野地すべり防止区域		
事業概要	地すべり防止施設(横ボーリング工、水路工、集水井工)				
事業の目的・必要性	首野地区における地すべり対策事業は、地すべり防止施設等の設置により、人家、道路、公益施設への地すべり変動による被害を除去または軽減する事を目的とする。当地区では、地すべりにより市道や宅地に亀裂や沈下が生じていたことから早期対策の必要があった。				
総事業費	520 百万円				



事業評価結果

事業全体の投資効率性	基準年度 平成25年度	B/C 3.55	残事業B/C 3.75	総費用 5.5億円 : 工事費・調査費 等	総便益 19.7億円 : 人家18戸、道路 等
事業の効果等	・保全対象の人家18戸とその住民の人命と財産を保全する。(一般資産被害軽減効果・人的被害軽減効果) ・耕地3.9haを保全し、農作物への被害を軽減する。(農作物被害軽減効果) ・国道L=1.3km、市道L=2.9km、農道L=0.9kmを保全する。(公共土木施設等被害軽減効果) ・家庭や国・地方公共団体による清掃や土砂撤去被害の軽減。(応急対策費用軽減効果) ・森林の保全、ライフライン切断による波及被害の防止、生活用水の安定的な確保(B/C以外の効果) 等				
社会経済情勢等の変化	近年ゲリラ豪雨等により多発する土砂災害に対して防災意識が一層高まっている中、当事業の実施においては土砂災害に対して地域の安全や避難路を確保しながら、土地利用や保全対象に影響を与えることなく、防災面の向上に寄与している。				
事業の進捗状況	全4ブロックの内、地すべり変動の小さいBブロックを除く、A、C、Dに着手している。C、Dについてはこれまでの対策により地すべり変動が沈静化した。残るAブロックについて地すべり対策を実施しており、平成29年度概成を目指している。平成25年度の進捗率は事業費ベースで59%である。				
感度分析	残事業費+10%:3.38,残事業費-10%:3.74,工期+10%:3.54,工期-10%:3.56,一般資産+10%:3.85,一般資産-10%:3.25				
事業進捗の見込み	平成29年度の概成に向け隘路なし。				
対応方針	継続				
対応方針理由	調査及び対策工を実施するにあたり、地元との調整に時間を要した。地すべり変動の沈静化へ向けて残計画の対策工を実施することが必要であるため判断した。				

※総費用、総便益は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

継続の理由

区域内では依然地下水位が高く、地すべり変動の沈静化へ向けて残計画の対策工の実施が必要である。また、上記事業評価の結果、費用対効果が3.55と事業効果が大い。 したがって、地域の人命・財産の安全を確保するため、平成29年度の概成に向けて地すべり対策事業を実施していく。
--